

新年礼拝 ー土の器にこの宝を

Ⅱ コリント4:7-18
2016,1,1 HKJCF

概観

序)①世界の激変 ②「後世への最大遺物」 ③勇気に満ちた人生の秘訣

I 内なる宝の自覚 V7-9

II キリストを問題とする V10-11

Ⅲ 永遠の 栄光 V12-18

IV 結論・適用・祈り

I 内なる宝の自覚 V7-9

- 1、信仰者の自己像の影響
- 2、土の器(自分自身)と内なる宝(聖霊)
- 3、神様は父・子・聖霊=上・横・内
⇒自己像の変革(苦難と聖霊体験)
- ①生きている→生かされている
- ②生かされている→内なる聖霊による
- ③土の器→内なる宝への大転換
ヨハネ14:9-12,16-17

II キリストを問題とする V10-11

- 1、自分を問題としないで明け渡す
- 2、キリストを問題とする ガラ2:20
- 3、キリストと生・死で一つ ローマ6:6-8
⇒①(集団)自我に基づく生き方の限界
- ②死んだ者だけが自由 ローマ7:1-6
- ③キリストが私の人生の新しい責任者
ローマ8:12-17

Ⅲ 永遠の 栄光 V12-18

- 1、土の器が砕かれ
- 2、宝の働きが起こる
- 3、自分→周囲に良い影響
- 4、多くの人々が恵みから恵みへ
- 5、現在の艱難は永遠の重い栄光へ
⇒①周囲への聖霊の積極的影響
- ②恵み→感謝→神の栄光
- ③力・愛・慎み Ⅱテモテ1:7

IV 結論・適用・祈り

- 1、信仰=救いを受け取る信仰+自我に死に復活のキリストで生きる信仰
- 2、外なる人は滅びても、内なる人は日々新しい
Ⅱコリ3:15-18
- 3、軽い艱難→土の器の砕き→栄光(神様の、測り知れない、重い、永遠)
⇒パウロは永遠の神様の視点から人生を考える
それは天上の生が復活のキリストにより、今始まっていることでもある Ⅱコリ12:9-10